

## お客様から頂く 『ありがとう』のために

GAO保険企画株式会社

代表取締役 永尾 義文 さん

住所…大川市大字下青木271  
TEL…094418615734  
FAX…094418719010

今月の夢追い人はGAO保険企画(株)の永尾さんにお話を伺いました。

GAO保険企画は昭和48年創業の総合保険代理店。自動車保険や火災保険などの損害保険、医療保険やがん保険などの生命保険を取り扱っているとのこと。

「従業員は現在16名いて、平成29年には佐賀県にも新しい事務所を構えることができました」



会社のイメージキャラクター

永尾さんが二代目となるGAO保険企画。幼い頃から家業を継ぐつもりだったのでしょうか。

「大学生になるまで継ぐつもりはなかったですね。父親との関係もあまり良好ではなくて。決心したのは大学4年生になり就職先を決めるときでした。いくつか内定を頂いていたんですが、両親に『保険会社に就職しなさい』と言われて、そこで話し合いをして、最終的に入社してみたうえで家業を継ぐかどうか決めればいいじゃないかという話になりました。大学を卒業して入社した5年間は、正直地獄のような日々でしたね。毎日数字に追われて、上司からのプレッシャーもすごくて。それでもなんとか這いつくばって

今に繋がっていると思います。ただ、保険業の礎を作ったのもその5年間でした。数字を含めた保険という商品の勉強、目標設定のやり方や大切さなど、様々なことを学ぶことができました。特に、当時一番厳しかった上司から新聞を読むことと本を読むことを徹底させられました。嫌々ながらも続けた結果、現在の私に大きく影響していると思います。当時はすごく嫌だったんですが、今でも毎朝新聞を読んで、周辺を含めた新しい情報を吸収しています。本もそうですね。知識やノウハウなどたくさん積み重なって今に繋がっています」

GAO保険企画での仕事は、ただの保険代理店ではなく





事務所内の様子

『ありがとう』を集める仕事だと思っていると話された永尾さん。  
「当たり前前のことですが、人からの頼まれごと、困りごとなどを解決するのが保険代理店の業務なんです。それを総称してなんというのかを考えたときに、この仕事は『ありがとう』を集めているんだなと思います。保険商品を売るのが仕事、困ったときに解決してあげるのが仕事ではありませんが、それでお客様から『ありがとう』を頂けるわけです。その『ありがとう』から必然的にまた仕事になっていく、と私は考えています」

明るく楽しく元氣よく、やる気根気を持って取り組むことが大切だとも話された永尾さん。会社の方針にもこれを掲げているそうです。  
「他にも他人ができないことをやってあげる、解決してあげるといったモットーがあります。コンプライアンスを大事にして、お客様に安心感を与えるというところは当たり前ですが、それ以上のことが人としてお客様に接する上で大切なんじゃないかなと思っております。従業員にも浸透できるように心がけています。特に、保険代理店では、珍しいイメージキャラクターも作っています。百獣の王であるライオンのように強くたくましく、時にはガオガオと吠えて、お客様のために噛みつきますよ！という意味もひっそりめ、末永くお付き合いできるように尻尾を長くしています」

昨今ではBCP※など保険代理店としても大きく環境が変わってきているとのこと。  
「BCPに関しては、もちろん保険会社としての支援策もあるので、我々も手助けすることができそうですが、会議所と一緒に取り組むことも必要だと感じています。一企業ではなく、大川全体として取り組まないといけないですね。例えば大川に大きな水害が発生して大変なことになったら、産業に大打撃が出てしまいます。保険金は出たとしても、そのまま事業を辞めざるを得ない方も多いと思いますので、そうなるは大川の産業、経済が成り立たなくなります。そういういった最悪の事態にならないようできるだけ早く対策を練ることが大切です。人命を救うことはもちろん大切ですが、それからの商売が成り立つように対策を練ることも大事なことです。BCPやSDGsなど、もつと広く認知されなければなりませんね。私自身、ただ生き残るだけでなく、大川という地で企業として存続していけるようにしたいです。その街で在り続けるというのもBCPだったりSDGsに繋がっているのかなと思います」

会議所青年部にも早くから入会されていた永尾さん。長年青年部活動にも注力されていたそうです。  
「商工会議所は商工業の発展のためにあって、青年部もそれに寄与するため目的としています。じゃあ、そのためには何をしたらいいのかを考えたんです。入会当時から、いつか大川商工会議所青年部を大川で一番活気のある団体にしたいとも思っていましたね。商工会議所と青年部があったからこそ、今の自分があると

言っても過言ではないなと思っけています。大川を盛り上げるために木のきもち事業や鳥人間コンテストへの挑戦などをやってきました。その中でたくさんの方と出会いました。結果的に私の名前を知って覚えてもらう良いきっかけにもなっています。大川市全体の木工産業をもう一度活性化させるといいうのが大きな目的でもあります。大川という土地で生まれ育って、今も仕事をしていきますし、これからもたくさんの方と出会い、お世話になりながら大川の地に骨を埋めることになると思います。今後また様々な活動を通して大川にどれだけ貢献していけるか。それが一番の目標でもありますね」

目的・目標のため、日々努力を続けられている永尾さん。会社の従業員や青年部の仲間などにも言い続けていることがあるそうです。  
「とにかく続けなさい、継続しなさいと言っています。そうすると、どんな商売をしていこうか『この人はなにか違うな』と感じてくれると思うよ、と。だから私自身も今も変わらず毎朝新聞を読むことを続けています。継続は力なりといいますが、まさしくそうだなと実感するばかりです。

続けてきたこと、積み重なった知識は、いつか大きな財産になります。特に保険という仕事に関しては、時代の流れや社会情勢が直結するんです。お客様に対して即座にご提案をできなければ、お客様が困ってしまうんです。だから、知識がないと商品売れないし、お世話が出来ないわけです。従業員に『たくさんの方の会社があったとしても、一人として対面したときに、知識も人間性も絶対に負けるな。私も絶対に負けないようにする。だから勉強をして、知識を吸収しよう』と伝えていきます。会社で戦って負けることはあるかもしれない。ただ一人として勝つ要素は、自分の能力次第でいくらでもできる。一対一で負けることは許されないと心持ちで取り組もうと伝えていきますね」

では、そんな永尾さんの夢はなんでしょうか。  
「会社としては、『ありがとう』をたくさん集めて、この大川で会社として存続できるようにしたいですね。そしてもっと多くの方の手助けになるように規模も大きくしていきたいです。そのためには生き残る会社づくり、強い会社づくりをしなければならぬ。それが会社としての夢であり、目標ですね」

※BCP…(Business Continuity Plan) 事業継続計画

企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のこと。